

常任委員会・特別委員会の動き

ロボット未来社会推進プロジェクト 社会情勢の変化を踏まえ

令和3年4月に改訂予定

建設経済

建設経済常任委員会は、2月18日に開催され、議案5件、陳情1件を審査した。

その結果、議案は全て可決すべきもの、陳情は趣旨不了承と決定した。

また、①鶴沼海浜公園改修事業の取組②藤沢市ロボット未来社会推進プロジェクト中間見直し(案)について

藤沢市ロボット未来社会推進プロジェクトは、来るべきこれからのロボット未来社会を見据え、長期的な視点で施策を展開するため、

「ロボットと共生する未来社会」を目指す将来像として掲げ、ロボットが私たちに健康で安心な暮らしを支えるパートナーとなり、日



新しい生活様式などあらゆる場面でロボットの利活用が期待される

オリンピック・パラリンピック競技大会の延期等の社会情勢の大きな変化を踏まえてプロジェクトの見直しを行う。

本プロジェクトを推進するための体系としては、①ロボット利活用の推進②ロボットの普及啓発・人材育成等の推進③ロボットの社会実装の推進④ロボット関連企業への支援

令和2年度は実施期間の中間年となることから、これまでの取組成果や課題を反映するとともに、新型コロナウイルス感染症の拡大

容の整理を行った。ロボット施策庁内連携推進会議で議論した内容について、医師会等の三師会や福祉施設、大学、関係団体、3年4月に本プロジェクトの改訂を予定している。

「藤沢市地域防災対策アクションプラン」へ改称 風水害からの逃げ遅れをゼロに

総務

総務常任委員会は、2月24日に開催され、議案5件の普及促進―以上4件を審査した。その結果、議案は全て可決すべきものと決定した。

また、①「ふじさわプロジェクト」等②「ふじさわプロジェクト」等③「ふじさわプロジェクト」等

このことから、本市の地震や津波対策に関する施策・事業を総合的かつ計画的に進め、効果を高めるため、神奈川県地震防災戦略を参考に目標を定め、

令和3年度から6年度までの4年間を第2期として、2年3月に改定するものである。

次期プランは、藤沢市気候非常事態宣言の表明を踏まえ、神奈川県防災戦略も参考に新たな減災目標を掲げ、風水害対策に関する施策・事業を明確に位置づけたプランとし、名称を藤

津市地域防災対策アクションプランへ改称する。減災目標は、「人命被害を限りなく減らす」「風水害からの逃げ遅れゼロ」の2つを掲げている。台風や豪雨による洪水、土砂崩れ、高潮、暴風等による災害は、その規模や発生時期などをある程度予測することができることから、対策を講じることにより被害の軽減が可能となる。このことから、住民や要配慮者利用施設等の所有者または管理者による適切な避難行動を促進し、逃げ遅れゼロを目指すため、

今回新たに「風水害からの逃げ遅れゼロ」を減災目標に設定した。次期プランに掲載する事業については、現プランから継続して掲載する事業が52事業、新たに掲載する事業が14事業で合計66事業となる。減災目標を達成するため、66事業を分野別に10の柱に位置づけて一

(仮称)スポーツ都市宣言の制定 する・観る・支える スポーツをさらに推進 子ども文教

子ども文教常任委員会は、2月22日に開催され、議案1件を審査した。その結果、議案は可決すべきものと決定した。

また、①東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の延期に伴う取組予定等②「(仮称)藤沢市スポーツ都市宣言」の制定③第4次藤沢市子ども読書活動推進計画④藤沢市立学校施設再整備基本方針⑤学校施設の長寿化に向けての改定(最終報告)⑥(仮称)富士見台児童館建設事業用地の処分―以上5件について報告を受けた。

このような背景から、市民に対して、スポーツの意義・価値の浸透や、意欲の向上を図るとともに、オリンピック・パラリンピック

近年、世界的なスポーツイベントが身近で開催されることにより、市民のスポーツへの関心が非常に高まっている。また、現在のコロナ禍においても、

スポーツは私たちに元気を与えてくれる源となっており、スポーツが持つ力の大きさを強く感じている。本市は健康寿命日本一を目標に掲げており、楽しく気軽に健康づくりに取り組むためには、スポーツの果たす役割はますます重要になってくる。

このような背景から、市民に対して、スポーツの意義・価値の浸透や、意欲の向上を図るとともに、オリンピック・パラリンピック

今後のスケジュールについては、令和3年3月に公開し、各団体から意見を伺い、令和3年度当初にスポーツ都市宣言原案を作成して宣言の制定を予定している。

厚生環境常任委員会は、2月19日に開催され、陳情2件を審査した。その結果、陳情は全て趣旨不了承と決定した。

また、①2025年に向けた藤沢型地域包括ケアシステムの推進②「藤沢市地域福祉計画2026」の策定③いきいき長寿プランふじさわ2023・藤沢市高齢者保健福祉計画・第8期藤沢市介護保険事業計画の策定④「ふじさわ障がい者プラン2026」の策定⑤第2期藤沢市国民健康保

令和2年12月定例会で報告した基本的な方向性を基に、このたび2025年に向けた新たなロードマップを作成した。

まず、各個別分野では解決が困難な地域生活課題に対応するため、13地区におけるニーズを捉え、地域の多様な主体によるネットワークを築き、課題の解決を目指していく。

また、社会福祉法の改正に伴い創設される、各分野を超えた相談支援・参加支援・地域づくりに向けた支援を一体的に行う重層的な支援体制整備事業や、新しい生活様式の実践、ICTの活用など、近年の社会動向を踏まえた取組を進める。

令和3年度は、全世代を対象とする地域共生社会の実現に向け、より実働的な体制をとるとともに、各重

補正予算

補正予算常任委員会は、2月25日及び3月19日に開催された。2月25日の委員

会では、議案8件を審査した。その結果、議案は全て可決すべきものと決定した。

3月19日の委員会では、議案1件を審査した。その結果、議案は可決すべきものと決定した。

この日の委員会では、「(仮称)藤沢市行財政改革2024基本方針(案)」及び「(仮称)藤沢市行財政改革2024実行プラン(案)」について審査を行った。

藤沢市公共再生・公共施設再整備特別委員会は、2月5日及び17日に開催され、それぞれ藤沢市公共再生及び公共施設の再整備について審査した。

2月5日の委員会では、①「第3次藤沢市公共施設再整備プラン」等の策定②藤沢駅周辺地区再整備事業の進捗状況―以上2件について審査を行った。

指定緊急避難場所 (Evacuation Area) 指定避難所 (Evacuation Shelter) ちゅうがっこう 〇〇中学校

避難行動の助けとなるよう、看板の設置事業等を新たに位置づける

行政改革等特別委員会

行政改革等特別委員会は、2月9日に開催され、藤沢市行財政改革の推進について審査を行った。